

2024年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2023年11月17日

京阪ホールディングス株式会社

(東証プライム市場 9045 [https:// www. keihan-holdings.co.jp/](https://www.keihan-holdings.co.jp/))

◆連結決算実績・業績予想サマリー	…	2
◆中期経営計画「BIOSTYLE～深化と挑戦～」の進捗状況	…	6
◆2024年3月期 第2四半期 決算の概要	…	17
◆2024年3月期 業績予想	…	29

◆見通しに関する注意事項◆

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

連結決算実績・業績予想サマリー

連結決算実績・業績予想サマリー

(単位：百万円)

2024年3月期2Q実績	2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減	2024/3 8月発表2Q予想	増減
営業収益	133,867	123,143	10,723 (8.7%)	130,500	3,367 (2.6%)
営業利益	17,172	10,174	6,997 (68.8%)	15,000	2,172 (14.5%)
経常利益	16,845	10,539	6,306 (59.8%)	14,500	2,345 (16.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,484	10,506	3,978 (37.9%)	12,000	2,484 (20.7%)

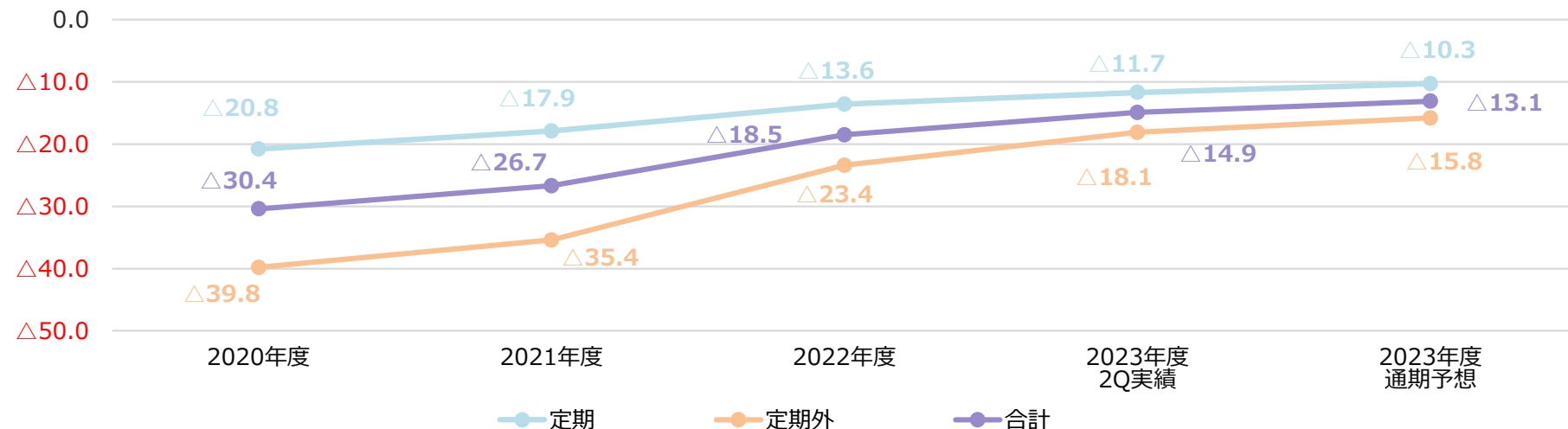
2024年3月期通期予想	2024/3 通期予想	2023/3 実績	増減	2024/3 5月発表通期予想	増減
営業収益	299,000	260,070	38,929 (15.0%)	292,000	7,000 (2.4%)
営業利益	31,500	20,491	11,008 (53.7%)	23,400	8,100 (34.6%)
経常利益	30,500	20,458	10,041 (49.1%)	22,300	8,200 (36.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	24,500	17,621	6,878 (39.0%)	18,500	6,000 (32.4%)

	2024/3 通期予想	2024/3 5月発表通期予想	当期業績及び財政状態等を総合的に勘案した結果、 前回予想の1株当たり30円から5円増配
年間配当金	1株あたり 35円	1株あたり 30円	

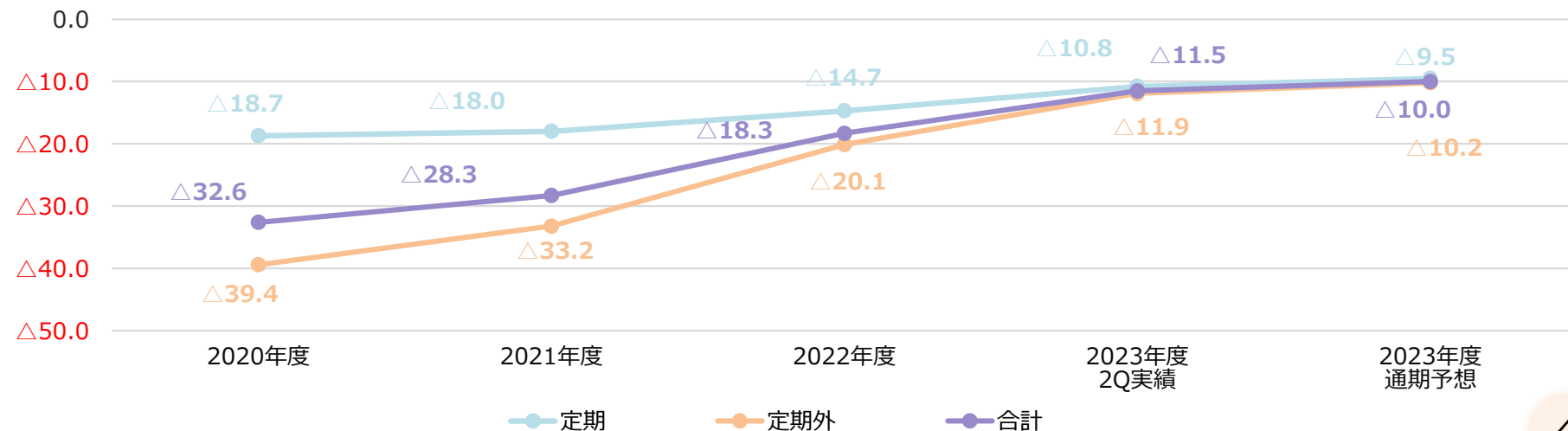
主な事業の状況（1）

京阪電気鉄道

(%) 旅客数 対平年度



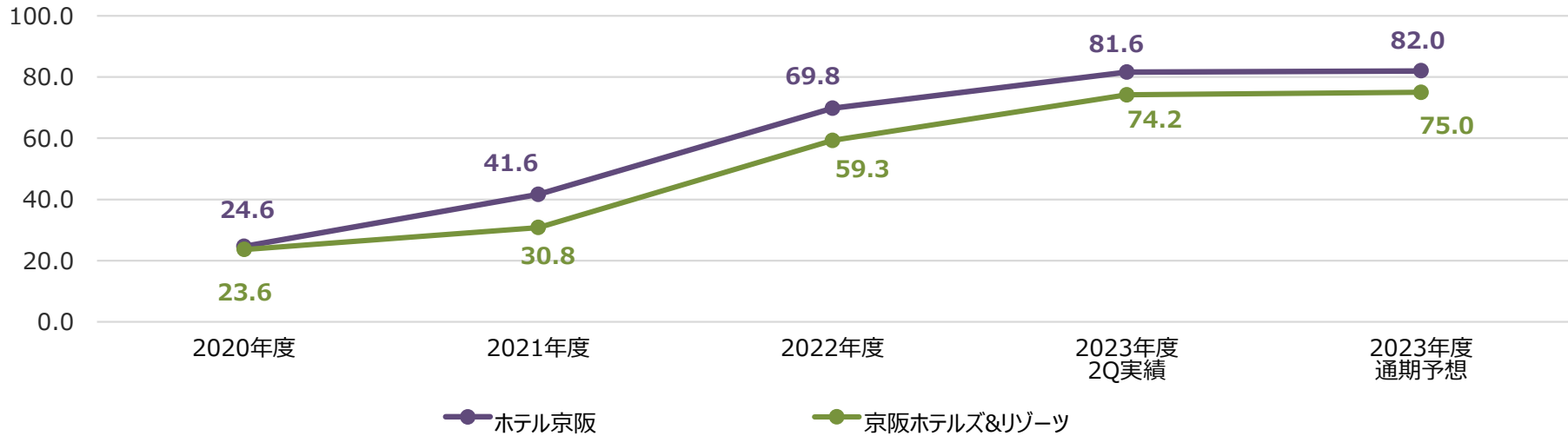
(%) 旅客収入 対平年度



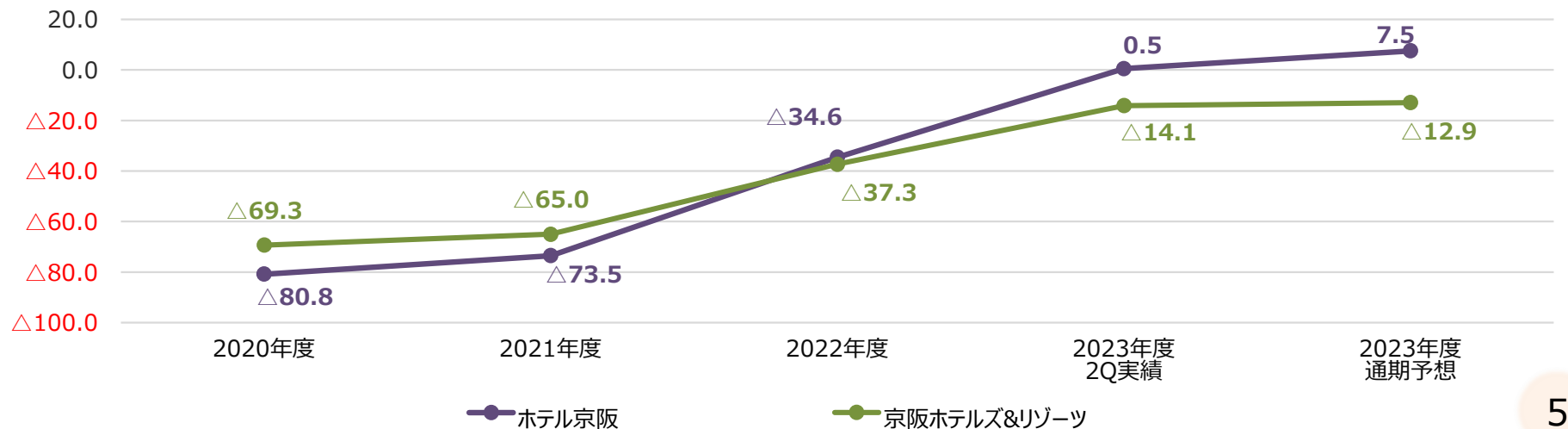
主な事業の状況（2）

ホテル事業

(%) 稼働率

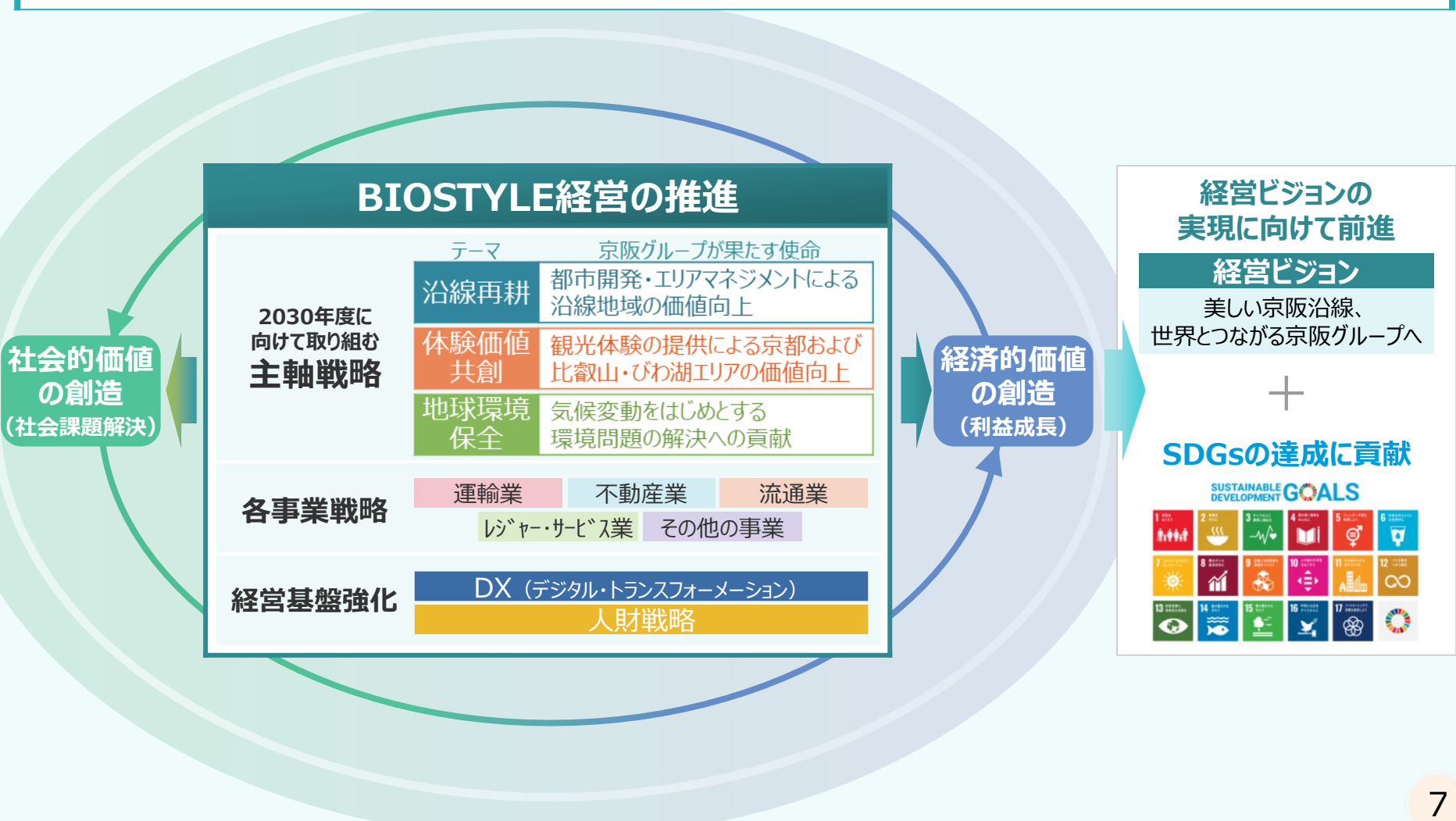


(%) 売上高 対平年度



中期経営計画「BIOSTYLE～深化と挑戦～」 の進捗状況

持続可能な循環型社会の実現に向けて、京阪グループの新たなブランドとして確立に取り組んできた「**BIOSTYLE (=京阪版SDGs)**」を経営・事業活動の軸に据え、社会的価値と経済的価値を両輪で創造する「**BIOSTYLE経営**」を推進



沿線再耕 大阪東西軸復権

- 京都への玄関口で大阪域に近接する京橋から再生医療拠点をめざす中之島を経て、IR計画のあるベイエリアに至る大阪東西軸に沿って、地域の特色を活かした都市開発を推進

淀屋橋

～京阪御堂筋ビルおよび日土地淀屋橋ビルの共同建替～



◀ 御堂筋側からの外観 ▶



◀ B1F 淀屋橋広場 ▶

30階	商業・展望テラス
12～29階	事務所
10～11階	ビジネスラウンジ
4～8階	事務所
地下1～2階	商業

◆ 計画概要

- 延床面積：約73,000㎡
- 規模：地下3階、地上31階
- 竣工予定：2025年5月末

淀屋橋駅コンコースのリニューアル

- 本事業に合わせ、淀屋橋駅コンコースのリニューアルを実施
- 新築されるビルとコンコースを一体的に接続することで、乗り換えや地上部との利用動線を改善し、利便性を向上

中之島

～4丁目未来医療国際拠点整備事業～



拠点のコンセプト

- 再生医療をベースにゲノム医療や人工知能（AI）、IoTの活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」の産業化を推進
- 国内外の患者への「未来医療」の提供により、国際貢献を推進

◆ 計画概要

- 延床面積：約57,000㎡
- 規模：地上17階
- 竣工予定：2023年度

沿線再耕 えきから始まるまちづくり

- 駅周辺に都市機能の集積を図るとともに、地域企業や地域社会と協働して歴史や文化をはじめ地域の特色を活かしたまちづくりを連続的に展開
- 駅を単なる乗降場から、駅とまちが一体となり、人々が集い新たなコミュニケーションが生まれる空間へと進化

枚方市

～駅周辺地区 第一種市街地再開発事業～

枚方市駅において、駅と一体となる商業、オフィス、ホテル、住宅、行政等の機能を備えた複合施設の整備を推進し、2024年度中の開業を目指す

1. 商業ゾーン

京阪枚方ステーションモールと一体で整備を進めており、整備前と比べて面積で約2倍、店舗数で約3倍となる、枚方市駅と一体の大型の商業施設を展開
夕日を望む広場や天野川側に設置するテラスは、枚方らしい時間を過ごせる空間を創造

2. オフィスゾーン

自然豊かな環境に恵まれた快適性と都会的な利便性の両方を備えたオフィスを整備

3. ホテルゾーン

世界で唯一無二の“4つ星ホテル”を展開する「カンデオホテルズ」を誘致
最上階には露天風呂付きの天空のスカイSPAを配置

4. 住宅ゾーン

20～30代の若い世代も住みやすい環境を意識した駅直結型の賃貸型タワーレジデンスを整備



◆ 施設概要

- 延床面積：約94,000㎡
- 規模：

オフィス棟	地上26階
レジデンス棟	地上29階
商業棟	地上4階
- 竣工予定：2024年度 夏頃

体験価値
共創

テーマツーリズムの造成による京都観光ゴールデンルート の 確立

- 京都および周辺エリアにおいて、伝統産業・アート・食・歴史等をテーマとするストーリー性の高い観光体験を地域と共創

伏見エリアでの酒蔵ツーリズム

伏見酒造組合と共創した体験コンテンツが、外国人の訪日意欲をかき立てる食と異分野を掛け合わせたアイデアを表彰する、農林水産省「食かけるプライズ2023」で「食かける賞」を受賞



体験価値
共創

京都と大阪をつなぐ観光コンテンツの創造

- びわ湖から京都、淀川を経て大阪湾に至る「水的路」について、舟運を中心とした観光・体験コンテンツの造成を促進

びわ湖疏水船の大津延伸

大津市と京都市を結ぶ「びわ湖疏水船」を、大津市内の三井寺付近から大津港まで、2024年度中に延伸、京都市からびわ湖までを舟運で繋ぐことで、更なる魅力向上と広域観光の深化を図る



地球環境
保全

「BIOSTYLE環境アクション2030」の推進

- 2022年5月に策定・公表した京阪グループの中長期的な環境計画「BIOSTYLE環境アクション2030」を推進

創エネの推進

京阪東ローズタウンで、発電時にCO₂を排出しない、クリーンエネルギーの自家発電機能を備えた「太陽光発電設備付戸建住宅」を2023年4月から販売開始



京阪本線「伏見稻荷駅」、スーパーマーケット「フレスト松井山手店」の屋上を活用し、太陽光発電設備の設置を2024年に計画



(伏見稲荷駅)

主軸戦略（スケジュール）

中期経営計画期間

		2023	2024	2025	2026	2030
沿線再耕	中之島4丁目未来医療 国際拠点整備事業	竣工				
	中之島4丁目 自社敷地開発	検討・協議中				
	京阪御堂筋ビルおよび 日土地淀屋橋ビルの共同建替	開業				
	京橋駅周辺再開発	検討・協議中				
	天満橋駅周辺再開発 中之島線延伸	2030年以降の将来を見据えて、実現に向けた検討を深化				
	枚方市駅周辺地区 第一種市街地再開発事業	駅直結エリア開業 市街地再開発事業完了				
	京阪本線連続立体交差事業 に伴う駅周辺整備	検討・協議中				
	橋本駅前開発	検討・協議中				
	門真市駅前・古川橋駅北側 再開発	古川橋駅北側 竣工 門真市駅前 検討・協議中				
体験価値 共創	京都駅東南部エリア プロジェクト	開業				
	三条駅周辺再開発	検討・協議中				
	京都タワー再整備	2030年以降の将来を見据えて、実現に向けた検討を深化				
	比叡山頂リニューアル	検討・協議中				
地球環境 保全	省エネの徹底・新技術導入、 創エネの推進、再エネの調達					

さらなる安全安心への取り組み

◆ホームドアの設置を推進

- さらなる安全安心への取り組みとして、京阪電気鉄道で、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、2025年度末までに、計4駅8番線の整備を計画
- 2023年度中の枚方市駅への設置を進めており、2024年度には守口市駅、萱島駅への設置を予定

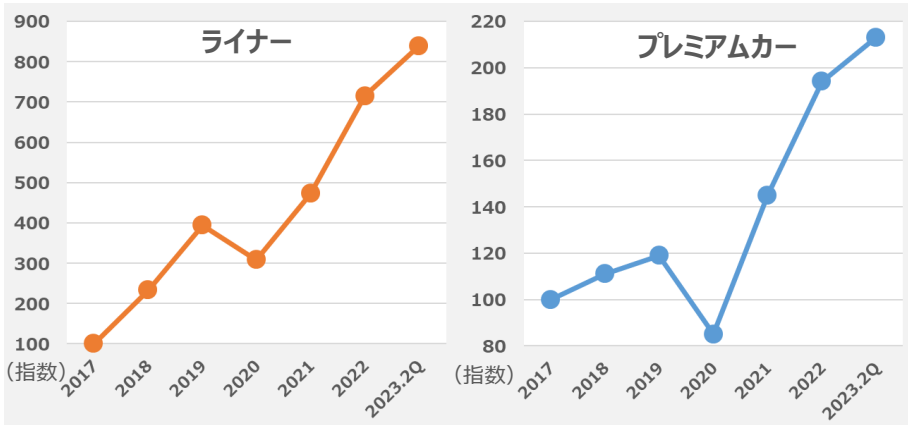


快適な着席サービスの拡充

◆全車両座席指定「ライナー」列車を増発

- 快適な着席サービス提供として、京阪電気鉄道で、ラッシュ時におけるライナーの増発及び停車駅の変更を含むダイヤ変更を2023年8月に実施
- 導入開始以来、有料列車サービスご利用者数は、着実に増加

※1日平均利用者数の推移（2017年度を100とした場合）



より環境にやさしい交通事業の推進

◆大阪府での大型EVバスの導入

- 脱炭素社会の実現に向けて、京阪バスの大型電気バスが寝屋川市、四條畷市、門真市の一部路線で2023年4月から5台が運行を開始
- 従来のバスと比べCO2排出量を1台当たり年間約52トン削減（見込み）



2023年度以降の主なマンション分譲

物件名・所在地		戸数
2023年度引渡予定		
ザ・ファインタワー大阪肥後橋	大阪市	197
VIVOVIVA石垣島	石垣市	98※
ザ・ファインタワー久屋大通	名古屋市	163※
2024年度引渡予定		
ファインシティ大宮公園	さいたま市	161※
川崎市高津区プロジェクト	川崎市	90
ザ・グランクロス多摩センター	多摩市	289※
2025年度引渡予定		
那覇市北谷プロジェクト	那覇市	218※
ザ・ファインタワー名古屋今池	名古屋市	186※
ファインレジデンス高崎鞆町	高崎市	72※
MJR熊本ゲートタワー	熊本市	236※

※共同事業、戸数は総戸数、表示物件の戸数、計上時期は変更となる可能性あり

多様化する価値観・ライフスタイルに対応した商品・サービスの展開

- 「ゼロホームの100年住宅」の「断熱」「機密」「換気」の性能をさらに進化させたほか、省エネルギー化を実現した「BASE3」シリーズのモデルハウスをタイプ別にオープン



BASE3マチナカ
(京都南インター展示場)



BASE3 style N
(伊丹展示場)



BASE3 FAMILY
(草津展示場)

不動産賃貸業における国内エリア拡大

- 優位性の高い地方中核都市における賃貸物件の取得を推進

外観イメージ			
建物名称	イーストコート2番街	京阪那覇新都心ビル	松戸東洋ビル
取得日	2023年6月	2023年7月	2023年9月
所在地	兵庫県神戸市	沖縄県那覇市	千葉県松戸市
規模	地下1階付地上14階建	地上6階建	地下1階付5階建
延床面積	26,202.76㎡	1,905.56㎡	3,993.65㎡
用途	共同住宅ほか	事務所	事務所ほか

沿線商業の進化・発展

◆KUZUHA MALLのリニューアル

- 2023年3月から段階的なりニューアルを進めており、2023年4月、本館1階のフードコートを周辺の食物販エリアと合わせてマルシェのようなイメージに一新
- 2023年12月には、レストラン街であるダイニングストリートがリニューアルオープン予定
- テイクアウトの機能を拡充し、365日使いやすい“フードマルシェ”として、全16店舗（新規10店舗、リニューアル6店舗）が並ぶフードエリアが誕生



フードコート（内部イメージ）



フードコート（通路側からのイメージ）

沿線まちづくりの推進

◆樟葉駅前広場

- 枚方市と連携して、樟葉駅前広場(市道 楠葉中央線)に天然芝生や屋根付きベンチ等を整備することで、魅力ある都市環境を形成し、公共交通の利用環境を改善

- 整備内容
芝生広場（天然芝）、
屋根付きベンチ、
路面改良、壁面緑化など
- 工事期間
2023年10月
～2024年3月（予定）



観光商業の確立

◆KYOTO TOWER SANDOのリニューアル

- 2023年4月、「あなたの京都旅にマストな『京-Lounge』」を新コンセプトに掲げ、開業以来初めてとなる大幅なりニューアルを実施
- 「京らしさ」にこだわった店舗の誘致やアーティストとコラボしたアート作品の設置



既存ホテルの高付加価値化

◆ホテル京阪ユニバーサル・タワー改装

- 客室内の改装工事に着手し、2023年7月に第1期計画として実施した48室の改装が完了
今後よりリニューアルを順次進めていく計画

コンセプト	疲れを癒し、ゆっくり休める居心地のいい空間「COZY」
デザイン	豪華客船が漂う夜の海に映る月明かりをイメージ
工事期間	2023年6月～11月（予定）



SDGsリブランディングによる競争力強化

◆琵琶湖ホテル

- 滋賀県が実施する「令和4年度しが生物多様性取組認証制度」で最上級認証の「3つ星」を取得
- 20年以上にわたって取り組んでいる環境保全プロジェクト「里山の食彩」を活かしたウエディングプランの販売



◆THE THOUSAND KYOTO

- サーキュラーエコノミーの実現に向け、京都センチュリーホテルで使用されていた食器を再びカラーリングし再利用することで、割れていない食器を廃棄する問題を解決
- 京都駅前からの生物多様性の保全と地産地消に貢献できるよう屋上での都市養蜂活動を推進



GOOD NATURE STATIONの取り組み状況

自社ブランドの確立

◆「NEMOHAMO」初の東京出店

- 2023年11月、オーガニックコスメブランド「NEMOHAMO」の直営店を東京・新丸ビルにオープン
- サステナブルを体現するブランドとして、壁面に海洋プラスチックを利用するなど、こだわりの詰まった空間を提供



店舗イメージ

大阪・関西万博に向けた取り組み状況

◆夢洲までのアクセス強化

- 京阪バスでは、「中之島駅」・「大阪駅（南）」※大阪マルビル跡地バスターミナル」と夢洲とを結ぶシャトルバスを運行
- 京阪電気鉄道では、中之島線にプレミアムカーを含めた臨時特急等を運転予定



提供：2025年日本国際博覧会協会

GOOD NATURE STATIONの魅力向上

◆「GOOD NATURE HOTEL KYOTO」にサロンを新たにオープン

- 2023年11月、スパ・ラウンジ・ジム・スタジオを有する「GOOD NATURE SALON」を本館3階にオープン
- コンセプト「人にも、自然にも、いいものを。」がお客さまから支持され、サステナブルなホテルとして着実に成長



スパイメージ



ラウンジイメージ

◆KANSAI MaaSアプリリリース

- 2023年9月、当社が参画する関西MaaS協議会にてアプリ「KANSAI MaaS」をリリース
- 今後、アプリを活用し、万博に向けた機能・サービスの拡充を推進



2024年3月期 第2四半期

決算の概要

連結損益計算書

- 運輸業やレジャー・サービス業を中心に回復が進む国内需要やインバウンド需要を取り込み、増収・増益。

(単位：百万円)

	2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減	増減要因	2024/3 8月発表2Q予想	増減
営業収益	133,867	123,143	10,723 (8.7%)		130,500	3,367 (2.6%)
営業利益	17,172	10,174	6,997 (68.8%)		15,000	2,172 (14.5%)
営業外収益	733	1,553	△819	雇用調整助成金△323		
営業外費用	1,059	1,188	△128			
経常利益	16,845	10,539	6,306 (59.8%)		14,500	2,345 (16.2%)
特別利益	4,987	5,137	△149	固定資産売却益△137		
特別損失	774	728	46			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,484	10,506	3,978 (37.9%)		12,000	2,484 (20.7%)

(参考)

減価償却費	9,816	9,966	△149			
E B I T D A	26,989	20,141	6,848	※EBITDA：営業利益＋減価償却費		
金融収支	△633	△666	32			
受取利息及び配当金	276	295	△18			
支払利息	910	961	△51			

セグメント情報

(単位：百万円)

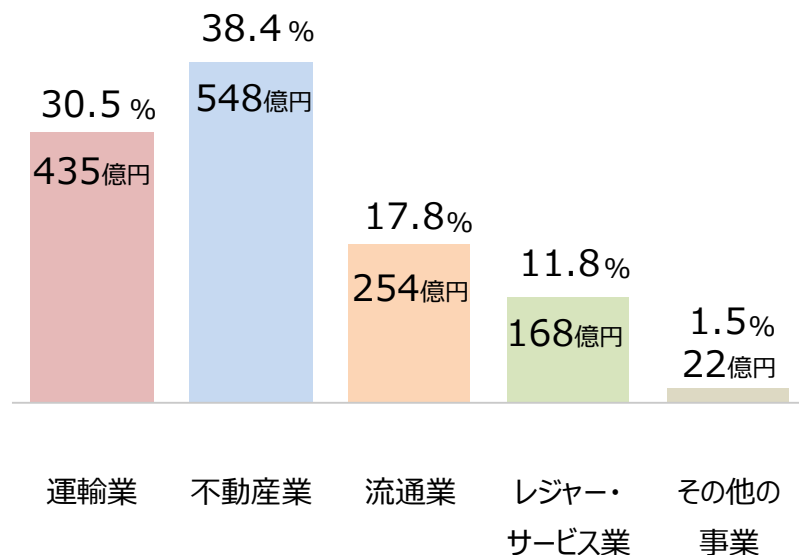
		2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	営業収益	43,588	39,448	4,139	10.5%
	営業利益	6,184	3,452	2,732	79.1%
不 動 産 業	営業収益	54,855	56,951	△2,095	△3.7%
	営業利益	9,024	9,641	△616	△6.4%
流 通 業	営業収益	25,433	24,446	986	4.0%
	営業利益	1,079	647	431	66.7%
レジャー・サービス業	営業収益	16,821	9,509	7,312	76.9%
	営業利益	1,549	△2,734	4,283	—
その他の事業	営業収益	2,216	1,660	555	33.5%
	営業利益	△436	△638	202	—
全 社 ・ 消 去	営業収益	△9,047	△8,872	△175	—
	営業利益	△229	△193	△35	—

セグメント情報（構成）

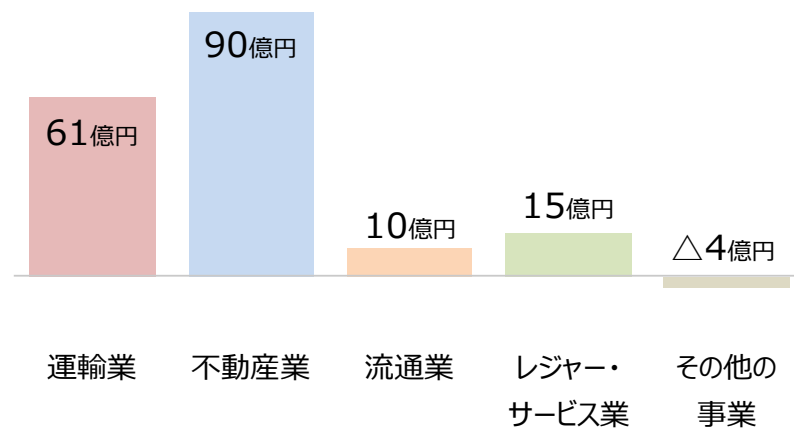
【連結対象会社】39社（対前年同期 増減なし）【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運輸業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不動産業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他6社
流通業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、ビオ・マーケット
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
その他の事業	ビオスタイル、京阪カード

＜セグメント別営業収益＞



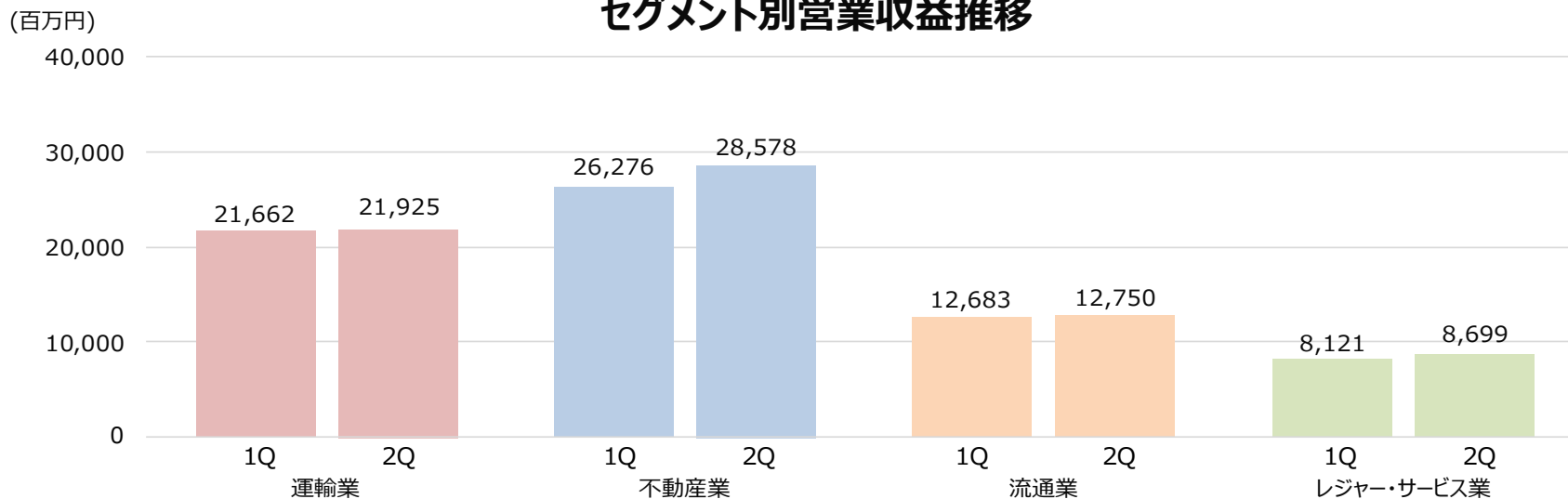
＜セグメント別営業利益＞



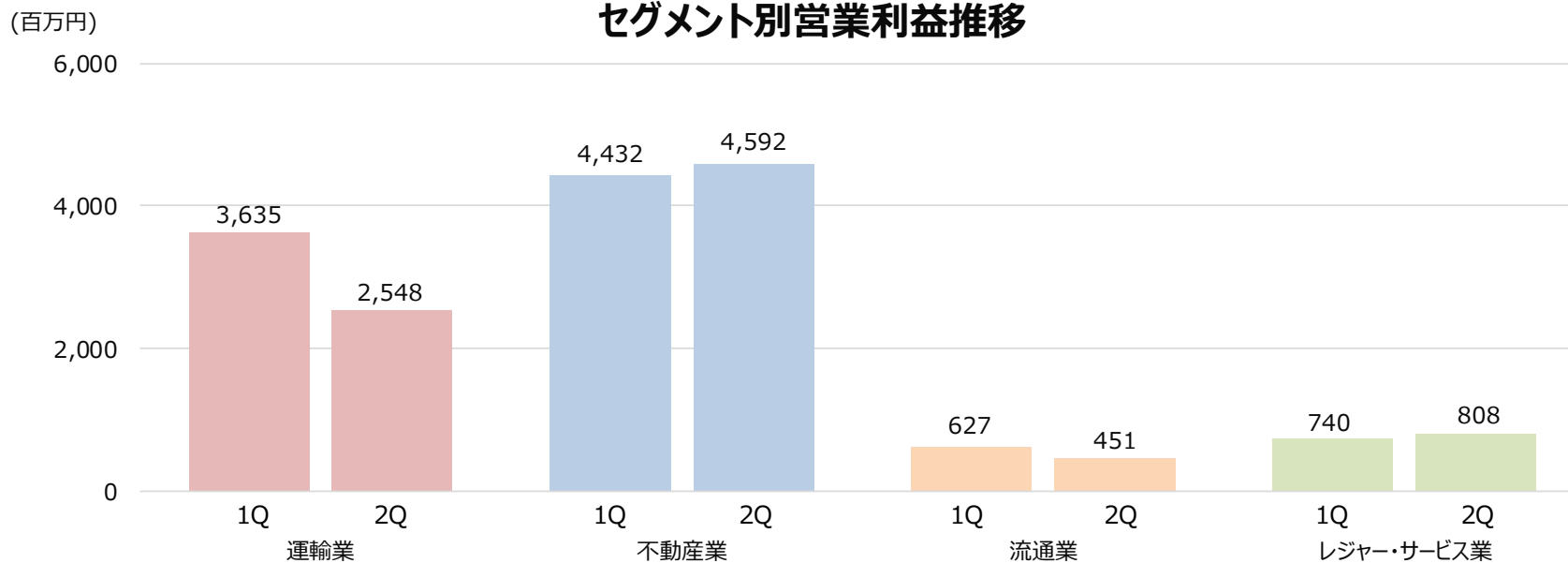
(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額であります。％は各セグメントの構成比を表しております。

セグメント情報（四半期推移）

セグメント別営業収益推移



セグメント別営業利益推移



セグメント情報（運輸業）

(単位：百万円)

	2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	43,588	39,448	4,139	10.5%
鉄道事業	35,489	32,024	3,464	10.8%
バス事業	11,625	11,111	514	4.6%
消去	△3,526	△3,687	160	—
営業利益	6,184	3,452	2,732	79.1%
鉄道事業	5,135	2,805	2,330	83.1%
バス事業	1,040	643	397	61.8%
消去	8	3	4	—

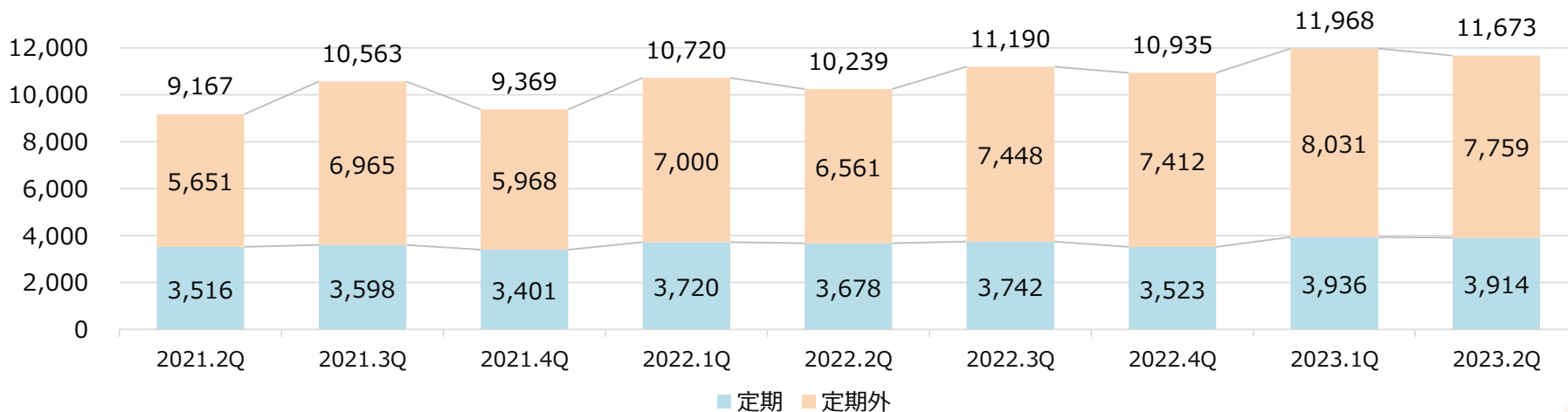
(主な増減要因)

- 鉄道事業は、旅客需要の回復に伴う輸送人員の増加や、鉄道駅バリアフリー料金制度の導入などにより、増収・増益。
- バス事業は、旅客需要の回復に伴う乗合収入の増加などにより、増収・増益。

運輸成績 京阪電気鉄道

		2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減	増減率
		百万円	百万円	百万円	%
旅 客 収 入		23,641	20,960	2,680	12.8
定 期 外		15,790	13,561	2,228	16.4
定 期		7,850	7,398	451	6.1
		千人	千人	千人	%
旅 客 数		130,128	120,297	9,830	8.2
定 期 外		62,346	55,108	7,238	13.1
定 期		67,781	65,188	2,592	4.0

旅客収入の推移 (百万円)



セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

		2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減額	増減率
営	業 収 益	54,855	56,951	△2,095	△3.7%
	不 動 産 事 業	49,286	48,087	1,199	2.5%
	不 動 産 販 売 業	33,844	32,114	1,730	5.4%
	不 動 産 賃 貸 業	13,368	13,773	△404	△2.9%
	そ の 他	2,073	2,199	△126	△5.7%
	建 設 事 業	9,424	12,275	△2,851	△23.2%
	消 去	△3,855	△3,412	△443	—
営	業 利 益	9,024	9,641	△616	△6.4%
	不 動 産 事 業	9,058	9,739	△681	△7.0%
	不 動 産 販 売 業	2,863	2,979	△115	△3.9%
	不 動 産 賃 貸 業	5,939	6,508	△568	△8.7%
	そ の 他	255	252	3	1.3%
	建 設 事 業	40	△3	43	—
	消 去	△74	△95	21	—

（主な増減要因）

- 不動産販売業は、開発案件のホテル売却などで増収となったものの、前年同期に販売した「ザ・ファインタワー大手前」や「ファインレジデンス新百合ヶ丘」の反動などにより、減益。
- 不動産賃貸業は、不動産ファンド収入の減少などにより、減収・減益。

セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

	2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	25,433	24,446	986	4.0%
百貨店業	9,706	9,300	406	4.4%
ストア業	7,622	7,388	233	3.2%
ショッピングモールの経営	6,483	6,281	201	3.2%
その他	2,276	2,139	137	6.4%
消去	△655	△663	7	-
営業利益	1,079	647	431	66.7%
百貨店業	△190	△296	106	-
ストア業	380	219	160	73.2%
ショッピングモールの経営	839	637	202	31.8%
その他	43	79	△36	△45.6%
消去	6	7	△1	-

（主な増減要因）

- 百貨店業は、インバウンド需要の回復やくずはモール店のモールリニューアル効果などにより、増収・増益。
- ストア業は、「もより市」各店舗の開業効果などにより、増収・増益。
- ショッピングモールの経営は、「KUZUHA MALL」や「KYOTO TOWER SANDO」のリニューアル効果に加え、飲食需要の回復などにより、増収・増益。

セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

	2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減額	増減率
営業収益	16,821	9,509	7,312	76.9%
ホテル事業	14,955	8,068	6,886	85.4%
レジャー事業	1,879	1,454	424	29.2%
消去	△13	△13	0	—
営業利益	1,549	△2,734	4,283	—
ホテル事業	1,334	△2,747	4,082	—
レジャー事業	205	4	201	—
消去	9	9	0	—

ホテル稼働率

	2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減
ホテル京阪	81.6%	63.3%	18.3pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	74.2%	54.6%	19.6pt

（主な増減要因）

- ホテル事業は、インバウンド及び国内旅行需要の回復や、2023年3月に開業した「ホテル京阪なんばグランデ」の通期寄与などにより、増収・増益。
- レジャー事業は、観光船業における需要の回復などにより、増収・増益。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024/3 2Q実績	2023/3 実績	増減額	増減要因
流動資産	213,892	217,002	△3,109	受取手形、売掛金及び契約資産△11,482、 販売土地及び建物+6,494
固定資産	563,764	557,846	5,917	投資有価証券+4,223、 土地+2,257
資産合計	777,656	774,849	2,807	
流動負債	143,925	148,777	△4,852	1年内償還予定の社債△20,000、 未払金△12,910、 短期借入金+23,498
固定負債	345,622	352,560	△6,937	長期借入金△6,632
負債合計	489,547	501,338	△11,790	
純資産	288,108	273,510	14,597	利益剰余金+12,016 ※自己資本比率36.3% (+1.7pt)
負債純資産合計	777,656	774,849	2,807	
有利子負債	338,492	341,625	△3,133	社債△20,000、借入金+16,866

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024/3 2Q実績	2023/3 2Q実績	増減額	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,990	903	16,087	棚卸資産の減少+8,983、 売上債権の減少+6,683、 その他流動負債の減少△7,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,303	△4,792	△6,511	固定資産の取得による支出△7,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,034	△2,886	△4,148	社債の償還による支出△20,000、 短期借入金△5,460、 長期借入れによる収入+19,740
現金及び現金同等物の増減額	△1,342	△6,548	5,206	
現金及び現金同等物の期首残高	16,727	20,322	△3,594	
現金及び現金同等物の期末残高	15,385	13,790	1,594	

2024年3月期
業績予想

連結損益計算書（業績予想）

- 回復が進む国内需要やインバウンド需要の取り込みによる運輸業やレジャー・サービス業の増収に加え、不動産業におけるマンション販売の堅調な推移などを見込み、増収・増益。

（単位：百万円）

	2024/3 今回発表予想	2024/3 5月発表予想	増減額	増減率	2023/3 実績	増減額	増減率
営業収益	299,000	292,000	7,000	2.4%	260,070	38,929	15.0%
営業利益	31,500	23,400	8,100	34.6%	20,491	11,008	53.7%
経常利益	30,500	22,300	8,200	36.8%	20,458	10,041	49.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24,500	18,500	6,000	32.4%	17,621	6,878	39.0%

（参考）

減価償却費	20,200	20,500	△300	△1.5%	20,028	171	0.9%
E B I T D A	51,700	43,900	7,800	17.8%	40,520	11,179	27.6%
有利子負債	363,000	378,000	△15,000	△4.0%	341,625	21,374	6.3%
金融収支	△1,300	△1,500	200	—	△1,341	41	—
受取利息及び配当金	500	500	—	—	535	△35	△6.7%
支払利息	1,800	2,000	△200	△10.0%	1,877	△77	△4.1%

セグメント情報（業績予想）

（主な増減要因：対5月発表予想）

- 運輸業：旅客需要の回復による増収に加え、動力費の減少などにより、増収・増益。
- 不動産業：不動産販売業におけるマンション販売の堅調な推移などにより、増収・増益。
- 流通業：ストア業の苦戦などにより減収となるものの、水道光熱費の減少やコスト見直しなどにより、増益。
- レジャー・サービス業：インバウンド及び国内旅行需要の回復などにより、増収・増益。

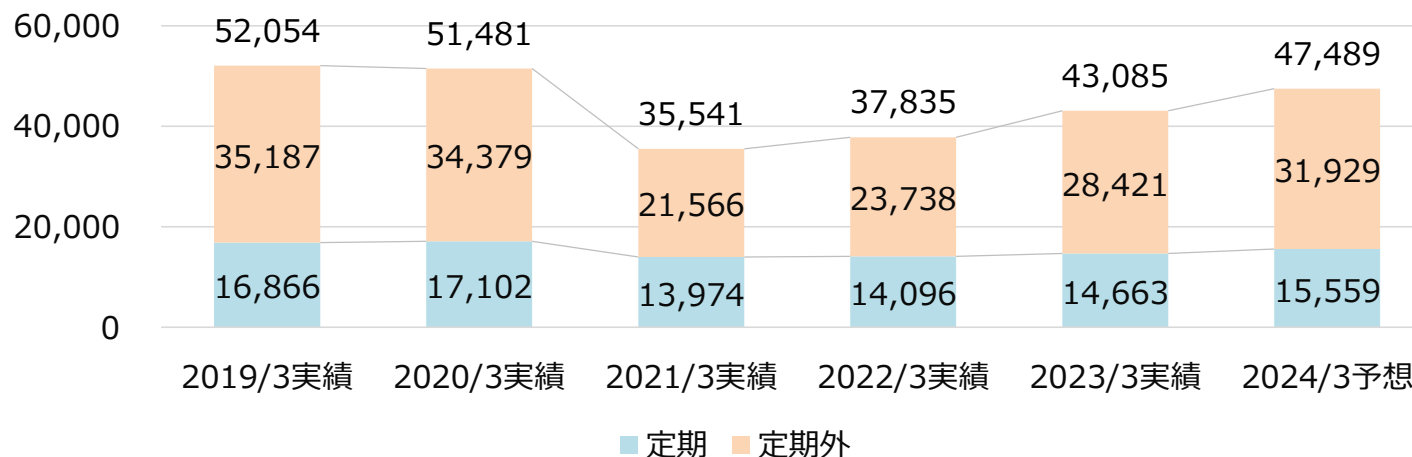
（単位：百万円）

		2024/3 今回発表予想	2024/3 5月発表予想	増減額	2023/3 実績	増減額
運 輸 業	営 業 収 益	87,300	85,700	1,600	80,927	6,372
	営 業 利 益	8,700	6,700	2,000	6,885	1,814
不 動 産 業	営 業 収 益	138,400	137,900	500	120,103	18,296
	営 業 利 益	19,400	18,100	1,300	17,555	1,844
流 通 業	営 業 収 益	52,900	53,000	△100	50,676	2,223
	営 業 利 益	2,500	2,100	400	1,878	621
レジャー・サービス業	営 業 収 益	34,200	29,200	5,000	22,869	11,330
	営 業 利 益	2,500	△1,700	4,200	△3,836	6,336
その他の事業	営 業 収 益	4,700	4,300	400	3,660	1,039
	営 業 利 益	△900	△1,100	200	△1,230	330
全社・消去	営 業 収 益	△18,500	△18,100	△400	△18,167	△332
	営 業 利 益	△700	△700	-	△761	61

運輸成績（業績予想） 京阪電気鉄道

	2024/3 今回発表予想	2024/3 5月発表予想	増減額	増減率	2023/3 実績	増減額	増減率
旅客収入	百万円 47,489	百万円 45,818	百万円 1,671	% 3.6	百万円 43,085	百万円 4,404	% 10.2
定期外	31,929	30,863	1,066	3.5	28,421	3,507	12.3
定期	15,559	14,955	604	4.0	14,663	896	6.1
旅客数	千人 259,978	千人 251,363	千人 8,615	% 3.4	千人 243,608	千人 16,369	% 6.7
定期外	126,880	123,690	3,190	2.6	115,377	11,502	10.0
定期	133,098	127,673	5,425	4.2	128,230	4,867	3.8

旅客収入の推移（百万円）



セグメント別設備投資・EBITDA（業績予想）

（単位：百万円）

	設 備 投 資					E B I T D A				
	2024/3 今回発表予想	2024/3 5月発表予想	増減額	2023/3 実績	増減額	2024/3 今回発表予想	2024/3 5月発表予想	増減額	2023/3 実績	増減額
合 計	41,600	44,800	△3,200	29,712	11,887	51,700	43,900	7,800	40,520	11,179
運 輸 業	14,200	18,200	△4,000	9,478	4,721	19,300	17,500	1,800	17,738	1,561
不 動 産 業	18,100	11,600	6,500	13,262	4,837	26,300	24,900	1,400	24,196	2,103
流 通 業	2,500	2,700	△200	1,496	1,003	3,600	3,200	400	2,932	667
レジャー・サービス業	2,400	2,200	200	5,217	△2,817	3,800	△200	4,000	△2,646	6,446
その他の事業	200	200	－	117	82	△800	△1,000	200	△1,071	271
全 社 ・ 消 去	4,200	9,900	△5,700	139	4,060	△500	△500	－	△628	128

参考（経営指標）

（単位：百万円）

	2022/3 実績	2023/3 実績	2024/3 今回発表予想	2026/3 中期経営計画
営業利益	13,408	20,491	31,500	34,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,589	17,621	24,500	23,000
E B I T D A	34,331	40,520	51,700	58,000
ネット有利子負債 E B I T D A 倍率（倍）	9.47	8.02	6.67	6倍台
R O E	3.9%	6.8%	8.8%	7%水準

主要経営指標の推移（百万円）

